

Access VBA Standard Contents

本書について	009
学習環境について	010
VBAエキスパートの試験概要	011

1 VBAの基礎知識

1-1	基本用語	2
	プロジェクトとは	2
	モジュールとは	3
	プロシージャとは	3
	オブジェクトとは	4
	演算子とは	5
	キーワードとは	6
	組み込み定数とは	6
	参照設定とは	9
1-2	基本構文	10
	分岐処理	10
	繰り返し処理	16
	その他	23
1-3	データベース設計	26
	主キー	26
	インデックス	26

	適切なテーブルの分割/正規化	27
	リレーションシップとは	28
	結合の種類	29
	参照整合性とは	30
1-4	特殊なクエリ	37

2 変数・配列・ユーザー定義型・コレクション

2-1	変数	40
	変数の適用範囲と有効期間	40
	静的変数とは	44
	オブジェクト変数とは	46
2-2	配列	49
	配列とは	49
	動的配列とは	54
	配列の初期化	58
2-3	ユーザー定義型	60
	ユーザー定義型とは	60
2-4	コレクション	65
	コレクションとは	65

3 プロシージャ・モジュール

3-1	プロシージャ	70
	プロシージャの種類	70
	プロシージャの連携	71
	引数と戻り値	76
	値渡しと参照渡し	79
	配列やユーザー定義型を引数で渡す	83
	プロシージャの適用範囲	87
3-2	モジュール	91
	モジュールの種類	91
	モジュールの作成・削除	91
	モジュールのエクスポート/インポート	96

4 フォームとレポートの操作

4-1	フォーム・レポートの操作	100
	フォーム・レポートを参照する構文	100
4-2	サブフォーム・サブレポートの操作	104
	サブフォーム・サブレポートを参照する構文	104
4-3	フォーム間の連携	111
	フォームからフォームを開く	111
	フォームを開くときに引数を渡す	114

4-4	フォーム・レポートの応用テクニック	117
	KeyPress イベントの応用テクニック	117
	GotFocus イベントの応用テクニック	120
	BeforeUpdate イベントの応用テクニック	121
	NotInList イベントの応用テクニック	125
	Load イベントの応用テクニック	129

5 応用プログラミング

5-1	コンポーネントの利用	134
	事前バインディング、実行時バインディング	134
	オブジェクトの解放	136
5-2	ファイル操作	137
	カレントデータベースのパスと名前	137
	FileSystemObject の利用	138
	FileDialog オブジェクトの利用	153
5-3	OLE オートメーション	158
	Excel との連携	158
5-4	VBA の高速化	163
	高速化の考え方	163

6 SQL

6-1	あいまい検索	168
	パターンマッチングによる条件指定	168
6-2	レコードのグループ化	171
	レコードをグループ化する	171
	グループへの条件指定	172
6-3	テーブルの結合	174
	内部結合	174
	外部結合	175
	不一致レコードの抽出	177
	UNIONによる結合	179
6-4	テーブル定義の変更	181
	テーブルの定義を変更する	181
6-5	インデックスとは	184
	インデックスとは	184
6-6	SQLの高速化	187
	無駄な処理を行わない	187
	より高速な方法を選択する	187

7 ADO / DAO

7-1	ADO (ActiveX Data Object) とは	190
	データベースへの接続	191
	レコードの操作	195
	トランザクション	220
	外部データベースの利用	223
	例外処理	230
7-2	DAO (Data Access Object) とは	233
	ADOとの違い	233
	DAOを使用するには	233
	データベースへの接続	234
	SQLの実行	235
	テーブル・クエリの作成	236

8 Visual Basic Editorの操作とエラーへの対応

8-1	Visual Basic Editor (VBE)	244
	Visual Basic Editorの構成	244
	イミティエイトウィンドウの利用	245
	その他の機能の利用	248
8-2	エラーへの対応	255
	コンパイルエラー	255

実行時エラー	258
論理エラー	259
エラー処理	259
よくあるエラーへの対処	269

索引	274
----	-----